



三稜会会報

津島高校同窓会



平成22年9月15日
第59号

発行 愛知県立津島
高校内三稜会
〒496-0853
津島市宮川町3-80
電話 0567-28-4158
発行人 千賀 修一
編集人 桜木 琢磨



改修工事のうえ保存される旧講堂



三稜会会長 千賀 修一

一隅を照らす人は宝なり

平成19年に同窓会長をお引き受けしたとき、母校及び津島の歴史について知る必要があると思ひ、本校の70年、90年、100年の記念誌及び津島町史を購入し、本校の開校から現代までの歴史を勉強しました。本校開校に当たって津島町は、教育に対し強い情熱を持ち多額の寄付をして学校を誘致したことを知り、明治の津島町の人の心意気を知り感動しました。また、本校創立時に心豊かな人間教育をするため知育・徳育・体育を校訓とすることとし、それを標章するものとして徽章、校旗に「三稜の星」を採用し「知、

「三稜の誇りを胸に110年のその先へ」

仁、勇」を校訓としました。本校に学ぶ者は、開校以来三稜の教えを胸に育ってきました。同窓会長に就任して本校の歴史及びこれまで本校における教育指針等を勉強し、同窓会の運営について考えました。そして、何度か学校を訪問する毎に、校舎の渡り廊下や自転車置場の鉄部の塗装が落ち、クラブハウスの出入口

扉も長年手入れをしておらず、扉の塗装は剥げ落ち生徒から話を聞くと入口扉が手入れされておらず扉のすべりが悪くて開閉に大変苦労していることも目にしました。また、職員室前の廊下に机を出して熱心に勉強している生徒が何人もおり、本校を訪問する毎に、生徒から大きな声で「こんにちは」と挨拶してくれました。明るく元気で礼儀正しい生徒に接するところにも、学校施設の保守状況をみて、二〇周年記念事業の内容は、後輩のためにやることを行いたいと心から思い学校側と協議をし計画をたてました。

旧講堂は、津島高校の原風景であり、同窓生、在校生にとってのシンボルであることからこれを保存改修工事をしたうえで、同建体内に三稜文庫を設置することとし、更に旧講堂の西側に自習室建物を建設し寄付し、一般財団法人三稜育英会を設立して後輩のため育英事業をすることとしました。

この事業は、昭和35年に同窓会とPTAとが体育館を寄付し、以降記念事業として最大規模であり、またこれを実現するに

は色々な困難が伴いましたが、同窓会員、PTA会員、学校の教職員の皆様の協力により愛知県民の許可を取得することができました。そして、本年七月から旧講堂の改修工事及び自習室建物の建築着工ができ、本年8月10日一般財団法人三稜育英会も設立することができました。

二〇周年記念事業のスローガンを募集したところ、多くの作品が寄せられその中で「三稜の誇りを胸に二〇年のその先へ」が最優秀作品(62回卒 加藤里歩さん作)に選ばれました。

二〇周年記念事業として、私達先輩は、後輩のために色々なものを残すことができ、今後も三稜文庫への本の寄付、三稜育英会からの支援をすること等により、三稜の誇りを胸に同窓会活動を通して後輩にメッセージを送り続けたいと思います。

今年の夏は、大変暑さが厳しくなりました。三稜会の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。水谷正照前校長の後を受け、責任の重大さに身の引き締まる思いです。もとより微力ではありますが一意専心職務に精励し、本校の発展に尽力する決意であります。三稜会の皆様の一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

広大な敷地と豊かな自然に恵まれた本校は、明治、大正、昭和、平成の激動の時代を脈々と生き続け、政治、経済、文化など各界に多くの人材を送り出してまいりました。今年度創立一一〇周年を迎え、津島市文化会館において十一月五日に記念式典、十四日に三稜会総会が開催されます。総会や記念事業の準備に向けて、三稜会様をはじめ関係各位のご尽力に心より感謝申し上げます。お陰をもちまして記念事業の学習室の新築や講堂の改修工事も順調に進行しています。

週三十三コマ授業、シラバスの作成、土曜日学校開放、進学補習などの施策が進み、昨年度卒業生の進路状況は、名古屋大学をはじめとする国立大学進学者の数を伸ばすことができました。また、国際理解コースの初代卒業生は、名古屋大学、愛知県立大学、南山大学などに大勢合格しました。このことは、本校の新たな特色づくりの点で大きな成果と言えます。本年度の高校総体では、尾張部四十二高等学校中、男子が総合二位、女子が総合三位、男子はラグビー部、テニス部、卓球部が

教育とは人間の 生き方の種蒔きを することなり

校長 田中基夫



団体優勝し、女子はハンドボール部、弓道部、テニス部が団体で県大会に出場できました。また、陸上部男子四〇〇mハードルは、東海大会で優勝してインターハイに出場するなど成果が上がっています。さらに本年度は文武両道をめざし、重点目標は、①校訓「知・仁・勇」のさらなる推進、②確かなる三つの保証の実現、

「規律の保証、学力の保証、進路の保証」、③国際理解教育の推進としております。知・徳・体のバランスのとれた、スケールの大きい子どもたちを育て、地域社会、保護者、三稜会の皆様方の期待に応えてまいります。

教育学者の森信三先生の「二日一語」の中に、「教育とは人間の生き方の種蒔きをすることなり。人間の生き方の種蒔きとは二度とない人間の一生をどのように生きたらよいのかという、根本の心がまえのタネを蒔くということである。」と書かれています。学校の決め手は人づくりです。職員においては、三稜の歴史に敬意を払い、意志力を鍛練して教育に携わる。生徒においては、一人一人が切磋琢磨して夢や志を実現し、大きく成長して欲しいと思います。一一〇周年記念事業を通じて、歴史への敬意と新たな伝統の創造の気概をもち、再出発する機会にしたいと思っています。



創立一一〇周年、心よりお喜び申し上げます。

平成二十一年八月二日、ウェスティンナゴヤキャッスルにて平成二十一年度同窓会総会及び合同懇親会に約八〇〇名のご出席を頂き、誠にありがとうございました。

幹事学年三十二回生一同、準備に三年余りかかりましたが、会長はじめ役員理事の方々・恩師・諸

同窓会幹事学年を終えて

先輩の温かいご助言、ご協力のお陰を持ちまして無事終える事が出来、良き思い出となりました。

昨年の総会では、現在の津島高校の様子の映像を見て頂くなど、より母校への関心を深めて頂けたかと思ひます。

一一〇周年記念事業の成功に向け、我々三十二回生一同も微力ではございますがお手伝いさせていただきます。

同窓会の発展、同窓生のご活躍と、母校の益々の飛躍を祈りお礼の言葉とさせていただきます。

高校三十二回生

代表 神田 昭雄



今年の総会には三十三回生が幹事学年として、運営させていただきます。母校卒業五十年をお迎えになる十三回生の皆様、まことにおめでとうございます。

我々三十三回生は母校を卒業し、はや三十年の月日が流れました。当時と変わらない佇まいの母校を訪れますと、それほどどの時が流れたことが未だに信じられません。ともに学び、汗を流した同級生達と再び集い、幹事学年をつとめる機会を頂き、感謝の思いで一杯です。懐かしい思い出話に花を咲かせながら、総会・懇親会の運営について議論を重ね、何とか総会の日を迎えることとなります。千賀会長はじめ役員理事の方々や諸先輩方には、数多くのご指導とご助言をいただきました心より感謝申し上げます。

今年は、母校創立一一〇周年の記念の年にあたります。母校の歴史の重みに感動するとともに、このような節目の年に幹事学年をつ

総 会 に 向 け て

最後になりますが、母校の益々の発展と皆様方の更なるご活躍を祈念し、幹事代表の挨拶とさせていただきます。

一	開会の言葉・幹事学年代表あいさつ	幹事学年	伊藤 憲司
二	物故者への黙祷		
三	会長あいさつ	三稜会長	千賀 修一
四	校長あいさつ	校長	田中 基夫
五	スローガン発表および表彰		
六	議長選出・あいさつ	幹事学年	● ● ● ●
七	議 事	議長	● ● ● ●
八	平成二十二年役員選出		
九	総会閉会の言葉	幹事学年	● ● ● ●
十	音楽部演奏（二十分）		
	閉会（祝賀会の案内）		

日 時 平成二十二年十一月十四日(日)
受 付 十二時三十分から
場 所 津島市文化会館

- | | | | |
|---|-------------|----|-----------------|
| 一 | 開会の言葉 | 七 | 松の木募金報告 |
| 二 | 会長挨拶 | 八 | 校歌斉唱 |
| 三 | 乾杯 | 九 | 『三稜の鍵』継承式 |
| 四 | 卒業50周年会員表彰式 | 十 | 次年度幹事学年(34回生)挨拶 |
| 五 | 感謝状贈呈式 | 十一 | 万歳三唱 |
| 六 | 幹事学年記念事業 | 十二 | 閉会の言葉 |

三稜の誇りを胸に 110年のその先へ

62回生 加藤里歩さん 作

- ホームカミングデイ（午前10時～） 津島高校にて
- 三稜会（同窓会）総会（午前10時30分～） 津島高校三稜館（体育館）
- 記念祝賀会（午後1時30分～） 津島文化会館にて

□■□■※巡回バス（津島駅→津島高校→文化会館）あります。

■ 平成21年度 同窓会会務報告 ■

- (1) 同窓会理事会・幹事会 平成21年 5月23日(土)
 - ・平成21年度総会に関する事
 - ・会務報告、会計報告、予算案、役員改選
 - ・創立110周年委年事業に関する事
- (2) 幹事学年実行委員会 平成19年 4月から
- (3) 校内事務局打合せ 平成21年 5月
- (4) 同窓会会報(第58号)の発刊 平成21年 7月25日(土)
- (5) 平成21年度総会
(幹事学年高校全日32回生・定時制29回生)
平成21年 8月 2日(日)午前11時15分より
会場 ウェスティンナゴヤキャッスル
参加者 約800名
記念撮影(高12回・定 9回)
総 会
 - ・会務報告、会計報告、予算案、役員改選
 - ・卒業50年会員表彰
高校12回生・定時制九回生
 - ・卒業30年会員表彰
高校32回生・定時制29回生
 - ・幹事学年記念事業(幹事学年寄贈)
職員室用パソコン・プリンター六台(全日制5台+定時制1台)、プリンター1台、関連ソフト、表彰盆、音楽部楽器募金、松の木募金
 懇親会
臨時理事会 総会当日
ウェスティンナゴヤキャッスル2F「ル・パレ」
110周年記念事業の進め方等について
- (6) 同窓会理事会・幹事会 平成21年10月24日(土)
 - ・平成22年度・23年度の総会会場について
 - ・110周年記念事業について
- (7) 同窓会理事会・創立110周年記念事業正副部長会議 平成21年12月12日(土)
- (8) 同窓会入会式(全日制第62回生入会) 平成22年 2月26日(金)
- (9) 同窓会臨時理事会・110周年記念事業実行委員会 平成22年 3月 6日(土)

■ 平成22年度 三稜会事業計画(案) ■

- (1) 三稜会理事会・幹事会・110周年記念事業実行委員会 平成22年 5月 1日(土)
 - ・平成22年度総会に関する事
 - ・事業報告、事業計画、会計報告、同監査報告、予算案 他
 - ・創立110周年委年事業に関する事
- (2) 三稜会報(第59号)の発刊 平成22年 9月予定
- (3) 創立110周年記念式典 平成22年11月 5日(金)午前 9時半より 津島市文化会館
- (4) 平成22年度総会
(幹事学年高校全日33回生・定時制30回生)
平成22年11月14日(日)
 - ・総会・ホームカミングデイ…午前10時30分より(受付 午前10時より)津島高校三稜館
 - ・祝賀会…午後 1時30分より 津島市文化会館(受付 12時30分より)
- (5) 三稜会理事会・幹事会 平成22年10月予定
- (6) 三稜会入会式(全日制第63回生)平成23年 2月28日(月)
- (7) 幹事学年実行委員会(全日制第33回生)
- (8) 創立110周年記念事業実行委員会
 - ・創立110周年記念事業に関する事

ホームカミングデイのお知らせ

今年、三稜会総会を母校で、創立一〇周年記念祝賀会を津島市文化会館にて開催します。そこで、総会(午前十時三十分より)に先立ち、午前十時から「ホームカミングデイ」として、ご来場の卒業生の皆様に母校の現況をご覧いただくこと企画しています。総会での音楽部の発表以外にも、美術部や写真部等の文化部展示、改修された旧講堂やこの度の記念事業で建てられた自習室、三稜会展示室をご覧いただき、懐かしい母校の雰囲気に触れて頂きたいと考えています。

(ホームカミングデイ担当
高31回生 野田道雄)

平成22年度 職員異動

口退職・転出された方々

(敬称略)

(全日制)

校長 水谷 正照(保体)
教諭 服部 博(英語)

ご退職
ご退職
一宮高校

原 正美(数学)
鈴木 茂弘(地公)
鶴居 輝子(英語)
住吉 美紀(国語)
竹田 理恵(理科)
服部 敏彦(数学)
早川 益雄(理科)

津島北高校
西春高校
起工業高校
岩倉総合高校
一宮高校
杏和高校

口新・転入された方々

(敬称略)

(全日制)

校長 田中 基夫(理科)
事務長 大矢 繁善(事務)
教諭 伊藤 茂文(英語)
山田 潤(数学)
難波 佳江(国語)
福田 圭介(理科)
玉村 芳治(英語)
小澤 教(国語)
野村 正和(地公)

海翔高校
津島東高校
海翔高校
一宮高校
稲沢東高校
一宮高等学校
稲沢東高校
稲沢東高校
起工業高校

(定時制)

期付講師 安藤 里実(数学)

津島高校

(定時制)

期付講師 安田 雅大(理科)

新任

春の高校総体

尾張支部総合成績

男子準優勝 女子第三位

今年の春の高校総体では、卓球部・ラグビー部・テニス部男子が尾張部で団体優勝を勝ち取り、その他の部も弓道部の準優勝をはじめ団体成績で上位に入りました。その結果、冒頭のように今年も総体の尾張支部総合成績で上位をキープしています。

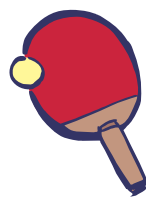
母校の近況報告

陸上部 石原君
インターハイ出場！

陸上部の三年石原颯（はやて）君は四〇〇Mハードルで東海大会優勝をたし、七月末より沖縄で開催されたインターハイに出場しました。惜しくも決勝進出を逃しましたが、素晴らしいタイムを記録しました。石原君は九月末から開催される国体にも参加が決まっています。彼の健闘を祈ります。

南館耐震工事進行中

一九七二年に建てられた今の南館校舎ですが、この度耐震補強工事・トイレ改修工事が行われることになり、現在工事が進んでいます。来年一月に完成予定です。これによって、発生が危惧されている東海地震から生徒を守ることができるかと期待しています。本校では、これで北館・南館・三稜館（体育館）の耐震補強が完了し、残るは本館の補強のみとなります。



卓球部 久保田君
中部日本卓球選手権大会出場！

卓球部の一年久保田光貴君は、七月に岐阜メモリアルセンターで開催された中部日本卓球選手権大会に出場しました。

▼最近4年間卒業生動向

		平成22年	平成21年	平成20年	平成19年
卒業生数	女	155	136	125	129
	男	317	278	275	274
大学進学	女	128	106	95	86
	男	268	225	230	221
短大進学	女	7	19	18	25
	男	8	20	18	26
専修専門学校	女	14	10	8	15
	男	18	15	10	17
浪人	女	4	1	1	2
	男	21	15	13	7
就職	女	2	0	2	0
	男	2	2	3	0
家事その他	女	0	0	1	1
	男	0	1	1	3

▼平成22年 大学合格者状況

	大 学 名	平22		大 学 名	平22		大 学 名	平22
国 立 大 学	北海道大	1	私 立 大 学	成蹊大	1	私 立 大 学	名女大	7
	北見工業大	2		学習院大	1		名学芸大	6
	室蘭工大	2		芝浦工大	1		名商大	4
	秋田大	1		駒澤大	1		名文理大	1
	山形大	1		東京理科大	6		名芸大	3
	東京海洋大	1		日本大	2		南山大	85
	富山大	2		法政大	1		日福大	8
	金沢大	1		専修大	1		名造形大	3
	福井大	8		明治大学	2		人間環境大	1
	信州大	2		東京農業大	1		日赤豊田大	1
	静岡大	1		金沢工業大	1		藤田保健大	4
	岐阜大	7		静岡理工科大	1		名城大	115
	名古屋大	5		聖徳学園大	29		四日市看護大	1
	愛知教育大	7		岐阜医療科大	1		京都外語大	2
	名古屋工大	4		愛知大	144		同志社大	9
	三重大	23		愛知工業大	44		立命館大	26
	徳島大	1		愛知産業大	1		龍谷大	1
	高知大	1		愛知淑徳大	93		関西大	1
	佐賀大	1		愛知学院大	24		関西学院大	5
	琉球大	1		愛知学泉大	1		大阪経済大	1
国 立 大 学	高崎経済大	1	私 立 大 学	愛知東邦大	1	私 立 大 学	近畿大	1
	富山県立大	2		桜花学園大	8		吉備国際大	1
	福井県立大	1		金城学院大	42		私立大計	775
	岐阜薬科大	1		相山女学園大	20		岐阜市立女短	3
	岐阜県看大	1		大同大	6		三重短	2
	愛知県立大	6		中京大	9		大垣女子短	2
	名古屋市大	3		至学館大	1		愛知学院短	1
	三重県看大	1		中部大	27		名古屋短	3
	滋賀県立大	1		東海学園大	5		名女大短	2
	国立大計	89		同朋大	2		名柳城短	1
大 学	早稲田大	5	大 学	名学院大	5	大 学	その他	3
	青山学院大	2		名外語大	10		短大計	17

「津島高校三稜会（同窓会）」の
ホームページが開設されました。

URLは

<http://www.sanryokai.com/index.html>

ぜひ、アクセスしてみてください。

恩師のたより

そうだった

一組担任 深川 裕稔 先生



ご連絡下さいましてありがとうございます。定年して十年、津島高校のことはすっかり忘れてました。わたしが一組を担当したとのこと、ありやうやうそうだったんだにやあつ、これは単なる老ボケっすよ。ゴメンちゃい。

おつ、思い出しました……。津島高校のこと。妻の叔母が高女とか、わたしの母の叔父が三とかに勤めていたので津島高に勤められて縁を感じたもんすよ。

津島高校の勤務年数は十年ぐらいやったかなあ。そうそう図書館で三中時代の定期テストの問題綴りを見つけた時

のこと……。叔父の漢文の問題を見つけたんすよ。

仕舞ったままで空気に触れなかったのかなあ、インクの青が鮮やかだったこと、ところろが——十分もしない内に黒ずんでくるじゃん。

浦島太郎が玉手箱を開けた時みたいに何十年の時が一気に通り過ぎて行ったんじゃないかな。真つ黒な筆跡に変わってしもた。

そうだ、一度、津島高に行ってみたいな。ああ、でもすっかり変わってわたしが行っても浦島太郎さんみたいやろな。



わたしのHP、あはは……。ちらつと見て下さいな。

「尾高高原、元湯、紅雲亭、オンラインノベルズ」長いタイトルだなあ。紅雲亭で検索すると上位に出るかも、カモ？。

懐かしい津島高校

二組担任 平林 義信 先生

津島高校は教員としての私の原点です。そして、新任から十年目頃に担任をさせて貰ったのが三十三回生の皆さんです。一の十、二の三、三の二と各年に思い出があります。奇妙なことに、四十年の教員生活で、三年生の担任として卒業生を送り出したのは僅か三回なのです。

皆さんの顔は、今振り返っても、高校生の時の儘です。三の二は理系で女子が二人でしたので、最初は心配しましたが、女性強いことを学びました。夏休みに家庭訪問をした時、保護者の方に驚かれたり、地図を見ながら走っていて電柱に衝突したりと、思い出されます。三年生は自分たちで事を進めて行ってくれたので、担任としては何もなかった様に思います。

津島高校から、美和・瑞陵・蟹江と勤務しました。美和高校では新設を、蟹江高校では閉校を見ました。その後、私立名電高校で四年間勤め、今年の三月末に退職しました。

昔の教え子が、仕事に悩む私を励ましに訪ねてくれたこともありました。今の生徒の父親・母親が、昔の教え子だと分かって驚いたこともありましたが、そんな人と人との繋がりが私の宝ものです。

津島高校の卒業生の皆さんが、母校との絆を大切にしてくださいることを嬉しく思いながら、皆さんの幸せと津島高校の発展をお祈り致します。

思い出深い津島高校

三組担任 鈴木 節子 先生



昭和四十年の新任から十六年間、津島高校にお世話になり、その後、平和高校・一宮商業高校・美和高校と三十四

年間の教職生活を経て平成十一年に退職しました。

今でも津島高校の前を時折通りすがり、静かな森に囲まれた落ち着いた環境で勉学に励むことが出来る津島高校の生徒の皆さんは、なんと幸せなことかと当時のことを思い出しながら感じています。

卒業学年の三組は男子が少人数のクラスで、女子の中に埋もれてしまうのではないかと不安でしたが、私の心配をよそに男子がリーダー役を務め、男女が良くまとまり活気あふれる学級活動が展開され、さまざまな分野で好結果を残されました。

三年三組は津島高校での最後の担任であり、私にとっても印象深い皆さんです。そしてまた卒業後も幾度となくクラス会に招待され、その度に皆さんのお元気な姿や活躍の様子を聞かせていただき、私自身が励まされる思いです。

現在六十歳台の後半になりますが、元気に過ごすことを目標にストレッチ体操や水泳の練習にも励んでいます。ようやくバタフライが泳げるようになりまし。

皆さんも健康には十分気を付けて活躍されることを願っています。

よき時代

四組担任 富田 栄子 先生



教員生活十二年目、初めての転勤にとまどう私に、前任校の校長先生はこう言われました。「津島高校に転勤した先生で、転出してから津島高校を悪く言う人はありません。そういう学校ですから安心して転勤してください」と。

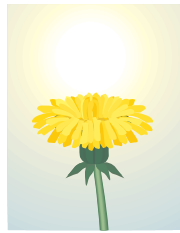
初めて訪れた津島高校は、自然溢れる環境のなか部活動の元気な声が響いており、よい学校へ来たものだ、ともうれしく感じました。当時の津島高校はあちこちに新設校が増えて大学進学が厳しくなるなかでも、伝統校の重みもあってそれほどさし迫った感じもなく、自由で人情味ある「よき時代」を謳歌していました。学校行事等も充実しており、みなさんは幸せな高校生活を過ごされたと思います。

ところで、わが家には濃い

ピンクの紫陽花が元気に育っています。当時の女生徒が花好きな私に「挿し木にしようぞ」と持ってきてくれたものです。毎年、この紫陽花が咲くころ、津島高校をより身近に感じ、よき思い出にひたっています。

さて、津島高校に十二年お世話になった後、一宮興道高校へ移り、そこで定年を迎えました。現在は書道を習ったり、草花作りを楽しんでいます。

三十三回生の皆さんは多忙な日々をお過ごしだと思いますが、そろそろ健康にもご留意のうえ、今後とも活躍くださいますよう、心から祈っています。



五組担任 三明 俊雄 先生

津島高校は今から二十数年前短期間ではありましたが奉職致しました。

明治以来の伝統校に教鞭をとることが出来たこと、今でも大変誇りに思います。

同窓会の皆様のご健勝をお祈りいたしております。

我が青春の津島高校

六組担任 木村 文男 先生



津島高校は、私にとって格別になつかしく思い出深い高校です。四年間という短い期間でしたが、新任として最初の勤務校であり、先輩の先生方からも、また生徒の皆さんからもさまざまなことを教えられた学校です。成果の目を追いかける昨今の風潮の中で、明るくのびのびなおらかな校風は、時代が変わろうが、大切な価値を持つものと信じています。それは、私の原点になっています。それは、私の原点になっています。

部活動では山岳部の顧問をさせてもらったことも、やりがいのあることでした。夏合宿で剣岳や槍ヶ岳に登ったことも、楽しい思い出になっています。山に登る基礎体力づくりに、学校から木曽川まで走ったり、天王川の池の周りを走ったり……

私は一宮南高校で定年を迎

えたあと、再任用教諭として、犬山・岩倉総合を経て、現在は五条高校に勤務しています。空いている時間は、のんびり走っています。今までも、シドニーやヘルシンキでフルマラソンを走ったり、サロマ湖一〇〇Kを走ったり（ここは十回以上走ったので、ゴール地点に足型を残してきました）……

今年の目標は二十回以上入賞すること（もちろん年代別）です。今のこんな生活も、津島高校の時代が原点になっているのかもしれない。

我がセブンスターズ

七組担任 伊藤 正隆 先生



元気でやってるよ。

三十三回生は教員生活最初の担任学年。命の重さを経験し、クラス通信「セブンスターズ」を発行し、修学旅行で寝顔を盗撮され出回って冷やか

され、卒業時には「視同仁」などの拙字色紙を贈った。挙げれば切りのない程印象深い学年だった。

故内田先生と古典サブノートを手作りして授業で使った。当時はガリ版、鉄筆時代。原紙の後半でミス（私はミスター）しようものなら、原紙が破けてまた最初からガリガリと鉄筆を走らせる、あの辛さ。でも、教科指導では大変お世話になった。改めてご冥福をお祈りする。

クレマー、モンスター……等と名付けられることもある今の保護者たちは、私たちが受け持ってきた人達心の中で深く懺悔する。今の私は、三十三回生をはじめとした皆さんとの交流、経験によって在る。今年もあなたたちの何人かのお子さんが入学してきた。学校と家庭とが連携しながら育てていきたいものである。

私のことを「正隆さん」と呼ぶ三十三回生がいるが、それでいい。私とあなたたちとは九歳しか離れておらず、この年になれば年の差はないに等しい。仲間として今後も声をかけてくれるようお願いする。

私は元気でやってるよ。

塞翁が馬を願って

九組担任 加藤 貞雄 先生



この三月で定年を迎え、三十七年間の教員生活を終えることになりました。津島高校には昭和五十三年（二十九歳）に赴任し、五年間お世話になりました。三年目に三十三回生諸君を担当することになりましたが、教員として充実した時期の日々を共に過ごせたことを大変幸せに思っています。しかし、振り返ってみれば、若気の至りや人間的な未熟さ（今も然りですが）故に、身の縮むような思い出が蘇って来ます。迷惑をおかけしたことも多々あったと思います。坂には三種類あるそうです。上り坂、下り坂、そしてまさか。そのまさかが起こり、今困惑しております。第二の人生にと、中国での日本語教師の研修を受け、派遣されることになっていたのが、土壇場でダメになってしまいました。来年継続できるとの事ですが、意気

消沈して今は考えられませんが、まだ次の人生の始まりになってしましました。

人生には色々な事が起こりますが、*"count your blessings"*で頑張るより仕方がありません。皆さんの人生に幸多かれと祈っております。お元気で。

津島高校の思い出

十組担任 西山 亮一 先生



津島高校に昭和五十四年の春赴任し、教員として十七年、講師として四年間勤務しました。その二年目に三の十を担当しました。三年生の各行事の中で特に進路指導に強く関心を持ち、各大学や短大、公務員関係等の情報及び生徒の成績等のデータと生徒各人の学業の進捗状態を考慮し、生徒との進路相談を精力的に行いました。私も充実した時期でした。四十五歳の頃でした。教科の指導についても立派な実験室があり、理科の担当の先生方も多数で更に実験助手

の先生も充足され、理科教育も恵まれていたと思えました。

その他、充実した図書館があり蔵書数も多く、活動も他校に比べて十分されていた事です。また、校舎の周りには広い運動場やテニスコート等があり、多く樹木に加えて花壇等があり良い環境です。素晴らしいと思います。

学校祭や修学旅行等も学校独自のアイディアで行われ、心に残るものの一つです。部活での思い出は囲碁同好会が全国大会や高文連の全国大会に出場した事です。十代の生徒は未来に向かって飛翔できる可能性を持っている大切な時期です。今後国際化は益々拡大され、海外に向かって積極的に活動しようとする意志を強く持つてほしいものです。今後の津島高校の発展を強く願っています。

当時、八組担任をされていた内田 俊弘 先生におかれましては、生前多くのご指導ご鞭撻をいただきました。先生の教育に対する真摯な姿勢に、身の引き締まる思いをいたしました。心より、ご冥福をお祈りいたします。



平成22年度 三稜会役員等（案）

相談役

服部 昭三

山田 もと

児玉 甚之助

佐藤 英夫

加賀 善康

大橋 忠行

田中 秀彦

浜田 一徳

伊藤 文郎

横井 五六

顧問

松岡 貞夫

佐藤 忍

水谷 正照

千賀 修一

副会長

佐藤 嘉國

大橋 武昭

後藤 務

横井 正憲

城 義一

津島 園子

渡辺 勝

桜木 琢磨

★常任理事

津島 園子

稲葉 真弓

服部 貴

青山 道男

理事

津田 はるみ

岡田 貞雄

加藤 哲雄

片岡 静子

大島 博

半田 貢

東海 広光

寺田 百合

石川 鑛一

本多 章浩

横井 啓泰

林 高弘

長谷川 実

田中 光弥

野田 道雄

神田 昭雄

北角 浩一

伊藤 紀彦

監事

太田 賢一

鈴木 睦

寺本 修

事務局長

教頭

＊新役員

平成22年度 津島高等学校三稜会校内事務局	
山内 良正	高22
石野 順子	高21
木村 堯恵	高24
水谷 忠司	高26
鈴木 博己	高27
諸戸 義潤	高27
佐藤 昌功	高28
平井 章博	高29
服部 孝子	高29
小笠原 正士	高32
石川 伸夫	高33
恒川 伸夫	高33
田中 道徳	高33
黒澤 康敏	高34
立松 秀樹	高35
橋本 昇	高36
加藤 みどり	高38
中島 順子	高19

5月26日・日比谷松本楼

本校の関
東地区の同
窓生の集ま
りは、瀬美井
潔（高13回）
さんと千賀
修一（高14
回）さんが発
起人となっ
て昭和38年
に在京学生
会が設立さ
れ、杉野学園
理事長杉野
繁一（中3回）
さん、愛知産
業社長井上
弥三郎（中13

はじめに千賀同窓会長から、本会開催の経緯と二〇周年記念事業への協力をお願いしたいとの挨拶のあと、津島高校の田中基夫校長から、津島高校の近況等をお話いただきました。その

(並木元義(旧姓余郷)・高校14回生)

一般財団法人三稜育英会

理事長 千賀 修一

半田高校の同窓会は、平成2年から同校在校生論文懸賞事業を開始し、以来20年以上続いており、平成19年度までに3,272人の生徒から応募があったということです。

これを参考にして、本校創立二〇周年を記念して設立された一般財団法人三稜育英会は、論文作成の機会と発表の場を高校生に作るため懸賞論文を募集することになりました。

さんに将来の希望を語ってもらうことを期して、課題を「夢（未来の夢、将来の夢、希望）について」としました。

審査委員長は、本校出身の作家の稲葉真弓さん(高校20回生)にお願いしました。稲葉さんは、高校2年生のとき文藝春秋が全国の高校生から「アンネ・フランクに贈る詩」を募集したときこれに応募して、2位に入賞したことがきっかけになって文学の道に入り、平成20年川端康成文学賞受賞、平成22年芸術選奨文部科学大臣賞を受賞され、現在大変ご多忙のところお引き受け頂きました。

今回の懸賞論文の募集は、初めての試みでありますので、三稜会会員の皆様から身近の西尾張地区の高校に在校する生徒に懸賞論文に応募するよう呼びかけて下さるようお願い致します。

お問い合わせ Email sanryo@t-kao.com で問い合わせして下さい。

「継続は力なり」

講師はいずれも本校の卒業生で「継続は力なり」というテーマで、講師が高校時代どのような生活を送り、高校卒業後今日にいたるまで、苦しかったこと失敗したことがあればそれらをどう乗り越えた今日があるか等々について語ってもらい、在校生に対し先輩からメッセージを送るという内容で講演してもらうことになっています。

この記念講演は在校生のほかPTA会員、三稜会会員も出席できます。希望の方は10月20日までに三稜会事務局(TEL:0567-28-4158)へ電話で申し込んでください。

北角浩一(32回生)

株式会社日本ソフトウエア代表取締役会長

稲葉真弓(20回生)

作家・平成20年川端康成文学賞受賞

城正憲(18回生)

城綜合法律事務所 所長 弁護士

横井義一(15回生)

協和交易株式会社
代表取締役社長

千賀修一(14回生)

虎ノ門法律経済事務所 所長弁護士

◆ 叙勲受章者の皆さん ◆

本校卒業生は各界でご活躍され、叙勲を受けられた方々も大勢みえます。長年のご苦勞に敬意を表し、同窓会会報でご紹介させていただきます。(今回は、理事会で叙勲を受けられた方のご報告をお願いして、理事の方からお知らせいただいた分をお載せ致しました。他にも叙勲を受けられた方がおみえになると思いますが、全部をお載せできずに申し訳ございません。ご本人やご家族、周囲の方々でぜひ同窓会事務局までお知らせください。)

受章時期	種 別	受章者ご芳名	本校回生	備 考
21 年 秋	瑞宝双光章	八 木 勇 夫	高校 7 回 生 (73才)	元 警 視 長 警 察 功 労
21 年 秋	瑞宝双光章	山 内 治 雄	高校 10 回 生 (70才)	元 公 立 小 学 校 長 教 育 功 労
21 年 秋	瑞宝小綬章	早 川 敏 彦	中 学 4 回 生 (81才)	元国鉄工事事務所長 鉄 道 業 務 功 労
22 年 春	瑞宝小綬章	大 野 静 彦	三 中 36 回 生	

編集長より一言

同窓会の新名称「三稜会」に続き、高校の給食室も三稜亭の看板。学年幹事会では入口の新名称に目が留まった幹事も。生徒の徽章、前庭の記念碑、会報表紙の三稜は活力が最も旺盛な十代に何を目標とすべきか、三文字に集約されている。

米国の神学者ラインホルド・ニーバー(一八九二―一九七一)の祈りに、似た表現があるので小欄で紹介したい。曰く、「変えられない事を受け入れる冷静さと、変えられる事を変える勇気、そしてその二つを峻別する叡智を我に与えたまえ。」ニーバーの祈りは、三稜の「智、仁、勇」を言い換えているような名句ではないか。

当時は気づかなかつたが「これからはこれだ」と進言しても、関係者多数が反対する。変えられぬ事を受け入れるとは、伝統を重んじ、相手への思いやり、上に立つ者の当面の寛容さとも言える。議論を重ね、熱意を尽くして開催時期、総会や懇親会場を変更した。総会は母校の講堂「三稜館」。会場は名古屋城が自前の庭園かと錯覚する一流ホテルから地元津島文化会館へ、変えられぬ事は継続、変えられる事は変える弁別が時代とともに必要。過去二年間は従来会場に執着の学年幹事に千賀会長が百歩譲って、改革は、百十周年を機にその緒に就いた。目標額に向け同窓三万一心で協力したい。

先輩が育英資金ほか母校思いを示せば、後輩も職員にも鼓舞激励となるだろう。

広報委員長 桜木 琢磨

平成21年度 三稜会 貸借対照表

平成 22 年 3 月 31 日現在

資産の部 (金額単位：円)			
科 目	当年度	前年度	増減
普通預金(一般会計)	2,733,583	2,203,816	529,766
同(周年記念事業積立)	2,183,070	2,182,371	699
同(松の木募金)	1,478,522	1,361,903	116,619
貯蔵品(一般会計)	687,750	876,750	-189,000
計	7,082,924	6,624,840	458,084
負債の部			
計	0	0	0
正味財産の部			
一般事業積立金	3,421,332	3,080,566	340,766
周年記念事業積立金	2,183,070	2,182,371	699
松の木募金積立金	1,487,522	1,361,903	116,619
計	7,082,924	6,624,840	458,084

正味財産増減計算書(一般会計)

自 平成21年 4 月 1 日
至 平成22年 3 月31日

増加の部 (単位：円)	
科 目	金 額
当年度収支差額	529,766
減少の部	
貯蔵品減少額	189,000
当年度正味財産増額	340,766
前年度繰越正味財産額	3,080,566
当年度末正味財産合計額	3,421,332

平成21年度 津島高校同窓会(一般会計)収支計算書

自 平成 21 年 4 月 1 日 至 平成 22 年 3 月 31 日

収入の部

(金額単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年決算額	摘 要
入 会 金 収 入	1,650,000	1,650,000	0	1,455,000	全日制317名 定時制13名
総 会 費 残 金	0	552,163	－ 552,163	610,520	幹事学年32回生
そ の 他 の 収 入	1,322	404	918	1,322	利息
計	1,651,322	2,202,567	－ 551,245	2,066,842	

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	前年決算額	摘 要
総 会 補 助 金	200,000	200,000	0	200,000	
記 念 品 費	320,000	300,000	20,000	314,000	幹事学年32回生へ記念品
準 備 記 念 品 費	0	0	0	0	卒業50年用木盃
会 報 費	500,000	442,260	57,740	493,290	会報印刷費
慶 弔 費	100,000	20,000	80,000	27,759	教職員三稜会への補助金
生 徒 記 念 品 費	100,000	66,034	33,966	57,456	卒業証書収納筒
会 議 費	100,000	54,399	45,601	92,125	
事 務 費	280,000	270,438	9,562	163,447	郵送料、消耗品等
庭 園 維 持 費	300,000	298,095	1,905	0	校内庭園維持費
そ の 他 の 支 出	30,000	21,575	8,425	20,120	定通振興会賛助金、振込手数料
予 備 費	221,322	0	221,322	126,000	
計	2,151,322	1,672,801	478,521	1,494,197	

当年度収支差額	－ 500,000	529,766	－ 1,029,766	572,645	
前年度繰越収支差額	2,203,816	2,203,816	0	1,631,171	
次年度繰越収支差額	1,703,816	2,733,582	－ 1,029,766	2,203,816	

注 1 予備費より流用 事務費へ 80,000円

庭園維持費へ 200,000円

注 2 未使用の木盃 在庫 2 6 2 個 (単価2,625円) 687,750円 (貯蔵品保管)

平成21年度 周年記念事業積立金

前年度繰越金	2, 1 8 2, 3 7 1 円
預金利息	6 9 9 円
次年度繰越金	2, 1 8 3, 0 7 0 円

平成21年度 松の木募金

前年度繰越金	1, 3 6 1, 9 0 3 円
21年度総会募金	1 1 6, 1 6 3 円
預金利息	4 5 6 円
次年度繰越金	1, 4 7 8, 5 2 2 円

平成22年度 津島高校同窓会(一般会計)収支予算書(案)

自 平成 22 年 4 月 1 日 至 平成 23 年 3 月 31 日

収入の部

(金額単位：円)

科 目	前年度予算額	前年度決算額	当年度予算額	比較増減	摘 要
入 会 金 収 入	1,650,000	1,650,000	1,650,000	0	全日制313名 定時制17名
総会費からの繰入	0	552,163	400,000	－ 152,163	幹事学年
そ の 他 の 収 入	1,322	404	404	0	利息
計	1,651,322	2,202,567	2,050,404	－ 152,163	

支出の部

(単位：円)

科 目	前年度予算額	前年度決算額	当年度予算額	比較増減	摘 要
総 会 補 助 金	200,000	200,000	200,000	0	
記 念 品 費	320,000	300,000	300,000	0	卒業30年 (幹事学年へ)
準 備 記 念 品 費	0	0	0	0	卒業50年用木盃
会 報 費	500,000	442,260	950,000	507,740	会報印刷費、発送費
慶 弔 費	100,000	20,000	50,000	30,000	記念品、香典等
生 徒 記 念 品 費	100,000	66,034	70,000	3,966	卒業証書収納筒
会 議 費	100,000	54,399	60,000	5,601	
事 務 費	280,000	270,438	200,000	－ 70,438	郵送料、消耗品等
庭 園 維 持 費	300,000	298,095	100,000	－ 198,095	校内庭園維持費
そ の 他 の 支 出	30,000	21,575	30,000	8,425	定通振興会賛助金
予 備 費	221,322	0	90,404	90,404	
計	2,151,322	1,672,801	2,050,404	377,603	

当年度収支差額	－ 500,000	529,766	0	－ 529,766	
前年度繰越収支差額	2,203,816	2,203,816	2,733,582	529,766	
次年度繰越収支差額	1,703,816	2,733,582	2,733,582	0	

三稜文庫へ本の寄付を

旧講堂内に約3万冊が収納できる三稜文庫のスペースができます。生徒達に自学自習してもらうために必要なことは、学ぶための道具すなわち書籍が必要だと思います。一冊の本との出会いでその人の人生が変わることもあります。

そこで、三稜会員とPTA会員から生徒に読ませたい本を寄付してもらい三稜文庫を創設したいと思っています。

本年11月14日に開催される三稜会総会、祝賀会会場に参加される皆様方から三稜文庫の本の寄贈をお受けします。是非一冊以上会場に本を持って来て寄付して下さいようお願いいたします。

また、郵送や宅配便でも受付しますので、津島高校宛お送り下さるよう(できるだけ発刊日から10年以内のもの)お願いいたします。三稜文庫の蔵書とするとき、寄贈本の表紙裏

に上記ゴム印を押したうえ、寄贈者の氏名等を記入させていただきます。

平成	年	月	日	寄 贈
寄 贈 者				
昭和	年	卒	殿	



すので寄付者の氏名・卒業年を書いたメモ用紙を寄付する本に入れて下さい。

募金についての ご報告とお願い

二〇周年記念事業募金部会

部会長 後藤 務

下記内容で本年4月から募金をお願いしたところ、本年8月10日現在約金七三〇〇万円の募金をしていただきました。多くの皆様方にご寄付をいただき厚くお礼申し上げます。

現在の募金額で旧講堂の改修と自習室建物の完成はできますが、更に三稜文庫の書棚、自習室建物の机、椅子等の購入、また、本校舎内の塗装が必要などところ(渡り廊下・自転車置場の支柱・運動場のバックネット鉄骨・更衣室の扉・写真ご参照)の塗



運動場バックネットの鉄骨



渡り廊下



更衣室の扉



自転車置場の支柱

画を立てており、このためには多額の資金が必要です。これらの事業を行うために、来年3月末日まで継続して募金をお願いをしております。寄付していただく方(追加して寄付していただく方も同じ)は、別紙振込書をお使い下さるようお願いいたします。本年8月10日以降にご寄付いただいた方のご芳名(追加分も含む)は来年の三稜会報に掲載させていただきます。

募金計画の要旨

募金の目的および方法

- (一) 目的 創立二〇周年記念事業に要する資金の調達
- (二) 方法 同窓会員・PTA会員・教職員・篤志家および法人に趣意書を配布し賛同者から寄付を募ります。

目標額 八、〇〇〇万円

募金期間

平成22年4月1日～同23年3月31日

寄付金額

個人募金 一口 五、〇〇〇円

法人募金 一口 一〇、〇〇〇円

ただし、金額にかかわらずありがとうございます。

寄付された方の顕彰等

- (一) 寄付された方のご芳名を同窓会報に掲載させていただきます(同意をいただいた方のみ)。
- (二) 個人二口以上、法人一口以上寄付の方に、同窓会名簿を贈呈します。
- (三) 個人三口以上、法人二口以上寄付の方に記念誌と同窓会名簿を贈呈します。
- (四) 個人一口以上法人五口以上の寄付の方を平成22年11月14日の二〇周年祝賀会にご招待いたします。
- (五) 個人一口以上法人五口以上の寄付の方に祝賀会の日に感謝状を贈呈します。
- (六) 個人四口以上、法人一口以上の寄付の方(ご同意いただいた方に)顕彰として旧講堂の中に銘板を設置し、ご芳名を掲載させていただきます。

寄附金に対する税制上の優遇措置について

個人で寄附金総額が五〇〇〇円を超えた人が寄付した翌年の2月16日から3月15日までに確定申告すると五〇〇〇円を超える額が課税所得から控除されます。税制上の優遇措置を受けることを希望される方は、確定申告に添付するために必要な領収書をお送りいたします。

「募金締切日 平成23年3月31日」

「振込み方法

郵便為替(郵便為替をご利用ください)。

口座番号 1824000

加入者名 愛知県立津島高等学校

創立二〇周年記念事業実行委員会募金部会

注 法律により寄付行為を禁止されている方のご寄付は遠慮させていただきます。